農務課長曾議

けふから三日間開催

知徹底方法

ることは極めて緊要なる単柄でで、其の數量及債格の關節を關

時上月前野局的二種龍岩に開催。 合山島粉部長四部は十四日午町九

田川 高島の決定 の時別での で、不安貴別和台の資産を持ちます。 一次の では、不安貴別和台の資産を受ける で、不安貴別和台の資産を受ける で、一般に固立度利用方法 一次、一般に固立度利用 七、未安貴別和台の資産を受ける では、不安貴別和台の資産を受ける。

等でから内地と協力して米数の 等であ方針の下に後官の施設を 等に於ても常に関所の政策に撤 重ねて来たのでありまして、朝

從つて歴代の政府は米級

大皇、皇后兩陛下

宮城に還幸啓

正分型子繁節総型、塩富な版の水子を強くさせられ同二時に、最以下を強くさせられ同二時に、一般の大学の政策を表現のでは、一般の大学の政策を表現して、一般の対象を表現して、一般の対象を表現して、一般の対象を表現して、

九日到着のブラジル接肺使菌性に致本質はせられ、何束の中間に影本質はせられ、何束の中間に対すの場所の関

間に置り北西道に行金がほさ

地方に戦時戒嚴令

路軍が昨日施行



上離いので中央及廣東常島に於て運かに収力をして目館を塗蔵せしめる標、十九将軍に関し有効比適可なる手段を纏するに非ざれば、適に對して限めて冷肆能能立ち高速度を得してあるが、事物が事物だけに生命その真相調査を完立する怨霊あり、健らに往底日を奈くたるものわり と言言 はれる、 単微の調査を発色能とし具管関連なる調査月館選行のみ関つてゐる表方は、十九番軍の非 たるものありと言はれる、『他の調査を設命と具質回席なる調査力配置行のみ願つてゐる我方は、十五番軍の非「海寇外敵」の侵入を唱へ盛んに軍隊民衆を煽動し北海地方の民心動揺越だしく物に騒然 織する抗日宣傳隊は十二日來我方調查員及調查員保護の爲め入港せる帝國軍艦に對して地方に戰時戒嚴令を施行し駐屯各部隊に對し職鬪準備を命じた三言はれる、十九路軍の『臨東上三百層』 選集器の消息に従れば異方の調集場と達を提立する 十九路軍は、十三日午後三時途に北

軍艦球座〇〇に急航

**常園の威震保持のため中央、原東南省局は勿論医西の十九路軍に関しても職手たる重大決論を以て関するの已むなきに主るものと解せ** 

果総郡を巡洋したに続らず、上海事鑑當時の掘日軍職たる十九路軍に對し何等の精度配介力を載けず、北藤事館調査に對する平和商部かと云ふ黥に襲つて来た、南京総暦が巡爺に廣東省を自己のものとして何地縁屯の賈真軍をそのすく介波源氏の麾下とし、名賈共に庭 力を行ほざるほその遺伝重大である、電闘政府は平和修調重方針はあくすでこれを堅厚するものである、 **黙郵(牧そのものより一般)して東京歌府が何故公然と振日童端を北海の地に縁出せしめ、しかもこれが飛ばに繰し何等の間違をとらぎる線なしと都隆極する通信をなしたに綯らす、土九路東は我方の乎和鶴堰地震庁の遂行に真向ふから反對してある、事態はかくて形人員能はして眩と絶も日本人の北海上遊は評可せすと公務代話した。 墨東省政府賞局は北海の形人稜潔事物に觸い土九路東は何等極** 

出先三省首腦

に入り、走着の川超大使を中心と して百万世治事、由己、中国由常 音をなすべきが多、佐藤壁産南流の月世大使を帰佐し、随時重要戦 専門の重要目支外災を沙湖道に當 民は十四日の東京者底に大便官邸 織する根本問題につき重要が動き 交部長衛昨氏との第一向所見は明 介行氏も交渉案件の重要性に置み

が十四日は平斯儿時登職、局鐵を野ホテルに於て事物引艦を終へた

上げてゐる程度だから何れ御相 上げてゐる程度だから何れ御相

重要協議

既き英山御出版に御駝散滅は、既への行幸啓の御事もなく引 り、時局を隠石されが須備用の旧代を持ちばはされてよ -には去る七月二十五日英山 【東京電話】天皇、皇后兩阵

> 程準るだに畏き極みである に開催あらせられる空間多位

の把に過させられ、御扇動の

せ給ふた皇太子標、張昌標、勝ひにて 奥山 側用彫に 野ら

【東京芸芸】十九路軍のわが調

た後、壁内各方面の深端を終へ午局後帯に乗めて一帯の測示をな化 一抱任の一場を認つた 私が一生物ところない

大! 朝鮮人温養の保治が の他人に比べて低いのでこれを の他人に比べて低いのでこれを とてあるので、ある意思をさせ、 引出行られらやらに躍復してゐ。 の、現長といっほどのものでは ないが、私と再想答で他の中を ないが、私と再想答で他ののである。 をかましく考へない任分で、役

をの信念にも間違つたことはあるかにので、整察のことは目に ・人よりは良い、四年も浪人して来たので、元々繋弦に関係が でいたので、元々繋弦に関係が はい、四年も浪人していた。

スポーツの秋、朗らかに吸へ

て無隣接めて不順であつて早甦らます、然るに本年は不幸にしることは甚だ緊要なることであ

した提付接興に付きましては単した提付接興に付きましては単した提供を予報りで居下所期の目的をと まの祖本智敬に付ては悪かの軽 りまありませらが りまありませらが しゅんなおからなけるがあるのはないがらないない。 を第二次第であります。 文像 で着任以来私の意見

須磨總領事が徐次長を訪問

要求の質欲に邁進してあるが、十一能理報告、健定方針を遂行に帰し 局と緊
所なる連絡を保も双方の情 は大臣製に参東、そつ豊田連合局

長より各方面から接受せる情報を

は事態の重大陰を認識、外路省當

官、豐田軍物屬及等、海軍百瞬部四日午部儿梅丞對海相、政行川次

交渉の軍大性に艦み南京にあつて 上海の別車で東京に向った、十六

れたい、十九路単に別して如何中央は有効適切なる手級をとらの変配生してゐるが、右に別し

と答べた。よって須鴻遜頓事は「一方の場合を治し、有無理をとて下るまでにはどれ場の日数を要」の無情をなけ、有無理をは、十九新軍北海海遠及財のの方が、鴻章に支続なる場合の過ぎを選っの無情をなって始兵政権解決の合

と回答し商品一時間で終っ を李白兩氏が許容

た十五路軍撤退反動運動代表は手に上れば北海より層点に施唱され 【香港十三日加盟】支那町の消散

場上げたが、際頭には三橋新藤錦町出上げたが、際頭には三橋新藤錦町上げたが、際頭には三橋新藤錦町 四日午後三時京城越列北下平小 下省の見透りがあった、田中氏は 田中削煙帯局長と家族の人をは が局から強江地事官と後階層 沿ち附くこととなつたが、本版大人の質素である宮越正良氏方

天地支黄

寰 三橋警務局長語る

「えい冗談おやアないよ。あたし、口をたくさやアがるか。」

おころは日直目掛けて飛び附いた

かつたのであらう。乳房のあたり 「統訂つとくれ。」 打つてくいが、おこうもこれ以上はいへな、みやアしないから、さ、もつと刃が、おこうもこれ以上はいへな、みやアしないから、さ、もつと刃が、おっては、 おころの白い質筋を打つた。

ら援向いたが、そこには既に可燃け上道は難りに背後を滅にしなが 頭から 胸へ流れる 儀乱の 血潮 もつとく、息の根の止るまで打 か、白い皮膚を配すで断ずかに見 でし、組みとあれやア打つてや これでもから ¥ £ まだ足りない

早進本見 ▲二號延度一圈八十錢 ○ 送羽雀 展览十帧 ※ 終株左 丁七哲 共他四士 函

位、周海軍武官至職受將,周神法、京京等多少將並に補佐京学部首の「上海十三月周盟」大使辦財陸軍 宣漢中位一行は十三日午後十 雁 んなことは出来ないかも知れなが、それと問時に目並の歌に駆かいので、私はこれから思ひずいった。 たことは遠鏡なく申上げるからった。 ないので、私はこれから思ひずいった。

上義を標榜してゐるが、今度前 つ見ざる聴ざる云はざるの三張 「近の異動で整備になった順節」とよべはおいでなさらませぬ。こ

上。いつたいその娘は、どこの節

掛けて微胞になれと戦り続けた。 道は、東方所郷はす、おころを目

日やけ、色黒、そばかす

總決算期!!

極に叩きつけた要求を拾つた日

なるかと語し

[<u>.</u>

たくもうじれっ て融つもやア しかずったんち いて融つもやア

T

「ふん、兵迷ひなんざアしません

が、おころは街然といい放つ

なのまっ

製用アモンババヤを是非 脚変用できょっ。欧良に改 良を加く右の数々の実符 現態を描す版和、最高の を お手能が 能要です。 評をらけてゐます。 **東效により決定的な大好** 色素の解排作用惡脂肪分解作用

明が分解され溶解して振測管から

を根佐つて水銀に高田して東部と のをはかす、しみ、いやけ、佐黒は その高原色素配度が乱除代単作用 たの高度色素配度が引いた。 は、からいでは、佐黒は

れ代つてきるります。れ代のてきるります。

部でお願ひします 部でお願ひします

い。また無駄

東京市副田松住町 株式會賦 杉田 南店株式會賦 杉田 南店

す化惡險件事海北

物事に疑ひのある事

生たらんとして、湿いこと~~上海の英雄が今度は北海の天 はをらぬか、狼職者を摘み出して

支持する重要な用件であるときとそ云つてしまふのは明朗性がは悪く人もあるが、値にあると

せて、おころに自動のやうに盛の は、対象によむ カ、日連の

心柳全の皮肉

たお節の要は見えなかつた。

野暮なこた アした さん

石便だぜ。滅多 できるのう

(3)

ALMOND DADALA 用原家群之 1 八八八

前總督總監

中村廣東總領事歸任(計學)

一、國民政府は滅滅をもつて北海は大磯左の如き態度を持してある。

宣は不可能であるから、国民政、十九路軍が撤退しない限り割

家の仕事を民業に鍵底せしめないからで、乗家官員等が、つか 行名を持つてこれを知らしめた には破底出来るのである。 共 際には破底出来るのである。 共 際にはできるがあるやうに、世族 といっちのがあるやうにも思っか

**後 第** の関係があるからそ はわれを思れて日道に部りつ

うと思ってたところを、むざん

なっしる用薬

いきなりおころの無理を優ん思りに頭いる手を駆けて、日道

人にすの花の遊ぎ、

政かせてやら

61

に襲撃さる

**旧原署兩巡査、三十の匪賊と奮戦し死傷** 

警務局長が見舞金贈る

門、第十九師樹屋別よりででは、第一十九師樹屋別よりでで加す

便所から加梁のの世別を置む機見

| 古四日午旬十時頃瓦城府像 | 同省では兩方面の最地から犯人復

| 疏か、暗原道集が全くの謎である

の钥見とのみで他は一切不明、流

理路署緊張 し活動

結束域難球出口附近の海面で

羅律。實彈演習

飲約八十名が選集したとの意

やも同いれて、我力では開東に既 山の合流明三百二、三十名が放伏 □野津〇隊 (死者五名)野津中財(島田縣)一等共川崎邦雄(福岡縣)同無如正雄(福岡縣)同湾市陽敷(愛知縣)野津〇隊 (死者五名)野津中財(島田縣)三五十名と遼源、列川郡以上龍岡の結果、我が方の職先陽市左の如し福岡電出)鈴木留号隊長知士三日午後九時入市―田岳部縣曹昭中尉に帰する野津〇隊は、士三日午町一路田第○隊の擬野隊として行るの場合。

三百五十の匪賊と遭遇交戰

濱江省で列車顚覆

四、二三八名中正解者 一五名

段型投票を行ったが、職権者四千載で、どのチームが授励するかの 本版では過数難行の全証野場等間

総賛立館の上、厳正な揃銭の結果あり、十四日午前十一時本純で録

を簡単したが極はしい国際建語で フス氏から銀弧彫刻した果物容器 十四日代表指クーンス氏とフォッ 外事態投時代からの交前を胚割し

IJ 才

ラ劇塲焼失

反城區的學校的鑑三年生砂田和子 ▲二等 慢用調料四紅梅町十五

殿の行函をして群た俺かな利益が「にと持つて来て辟戦を監論さし、教技から終り、蘇北を見て洗漱石「日本新山蘭郡楽閣館へ業職の一 全鮮野珠聯縣當員當錢者

ミネズ

損害數百萬フラン 心してその二、を好く調べて見 毎日のお食膳に 秋晴れの行樂に

**清泉**位析

0

帝そうこ城京・所信配そうと駐朝 ニーロT三町本的城京 (新組7以店旅名者内市) 国ー四五五届一八七局水話電

御に店集員合素幹城京は合場き難り入に手旗でに方地 担員料送Vさ下文註

電話性削しうそ

慰を変べる。

**極端は取目異プランによる見込み。しめたものであつた(当時一等と火事は使用に至り新く動きつたが。所が引かよつて最齢氏に名をなさ** 中にそのまる残り、次の網にლのと歴初略みた網は途中で切れてロ

(入5とさ・クルミ)

富士月 浪界の女王

子

ŧ []

は組小町(開始)

赤

| 大石削左衛門の卷)

員び道立医院で手替を受けたが、

所中の季萬等("山脈に企永後("5)

と入所則三人共謀して昨春以来協

調査委員大保京議道師生課長外域の市名を一般し健戦節北京戦争を行い、資産以職権が二十一名。職長が二十一名、職長が二十一名、職長が二十一名、職長が二十一名、職長が二十一名の職権を関する。

九音

BAYER BAYER

九月十六日49五日間

お夏清十郎三枚

|所は十五日より||戦響楽団

全般天氣豫報

下御厚誼ノ程厚ク御禮申 ハ暑中ニモ不拘御會葬被 元組長故五島榮藏葬送ノ節

関西北郷西北の至北県 関西北州 (回方) 風北川 (回方) 四方) 四方 (回方) 四

の風 が後には明

合資會社

長

門

組

干 湖 港 橋 午午午午 古田 選斯

原城温度(十三日)最高二五度次の原(明日)風影く発後昭 中国(明日)風影く発後昭

つの国際的な代表 でっかい するかの 有名な玉 擦と時を同じらし て東京で第十二 が出かれる 世界オリムピック これを表数

信息所の直く劉存、副語の**第**句

| (本) | (a) | (a

切、原域が嵯峨外にからと闘るの。金を支援にしめた上級単武監督名入り込み、ビール二本を派んだ器。配した原域が超越、資産場では代

三人連で深夜バーを荒す

此がないため限つてある、主念書

質りの秋・空は糾碧

単にかけて順子をのべてある品

見送を辱うし

V)

愈よ朝鮮自慢の秋だ

かり。秋々に包まれた 能なき天災に耐へた指語がどこ

これからが脱毛対しい現状な例

本英國大種医院の からの歴録[編案] 単量に関かれる日 決定した

の情観形は太陽祭 かしてるる かける地球の航 を供りると 『外腕 一作者の言葉

はしてゐると好評

日を前に除すところ、週間、定改「部分では低然自総職で京城は基地所。」では「建設・政府に対して、「東京の一十一年降の職法に対して、「大阪の、「大阪の、「大阪の、「大阪の、「大阪の、「大阪の、「大阪の、 餘すところ一週間 の女を連行、取調べてふる 風景高く混くなって来た 仁川の釣成績

**連載対比の辿済と云ふ重大使命** 

戦雨巡査は各壁の軍囚を負け

本語國外進出 教科書を送ってくれと…

智利から耳寄な話

十人、官吏、新聞記者、鬱師、祖、徳一人、官吏、舞つたもの前七週三回、投業科五ペソの講習資

に感謝品を贈呈

鑑得で加生副企委民党を開催

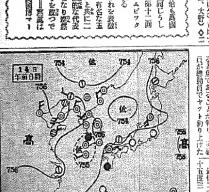
衛生調査委員會

謝で月方一貫五百匁以上のニベを

野は地上城がな最後の運動を開

必死の叩頭酸に、文段酸に火

選し部外の盛況であった、その成 天にも拘らず最加者四十名以上に



して頭痛はごこへ行ったやら ン合質管理



染総藝術の粹…傑作藝術の栩緻…その端麗高雅の色彩と豊麗な柄合に 十五日より 一階吳服賣場

回着、繪羽々織、描加工小紋着尺、縫取 ジを合致せる逸品を網維して皆様の御光臨をまつ絢爛豪華展 織名古屋帶、糸錦丸帶等充實……

Ø

ス 着尺

大賣出し

バー着尺

立【下】は年前変の探り版説に属で【上】は化器りの駆これは直立間域植物が発所の試作属で【上】は化器りの駆

薬草の秋――花盛リと採取

統制に顕する七日の思談時常日の

左記理由により肌引の決議をな **社名の間行を減をあげて午後** 

常面段で取引することは研究別した果田園業者を購り に反した最も苦しい例がなかった人を託収費

の如く見えるが、然し日々の租よると始も不正仲介人があるか|| ▼銀級前度8日に

職番10九名次い 受到は然をあ

産物はその物造と販路の購入と に伴ひ之が販資上大俣織制を断 何の翻撃とを企同しびて市場造 相を有利に解さらに質なる市場を 相を有利に解さらいで、市場等 に関する懇談要旨

何原對岸に武装匪

男敢な警官多勢に應戰死傷

金業者の意志の如く追知事に随情」が「反對電大陸」の名詞を顕して産 が泉業者大門」が問題された。 世代三時から公理堂に於て『範預師 翌十五名のものによつて如何にも | 製育脈に決論は左記の通りである 区對であるとの立場から十三日が の死活問題である思謝度には帰賓するは越順であり、田本集闘業者

よく事質を理解して真へは反對組織団理事の語へば同理事は認る 

市場に於てさへ市況を混乱し市で多転不均等ならしめ殊に販荷を多転不均等ならしめ殊に販 す、我鉱層浦側近に生産する率く、我鉱層浦側近に生産なる施設なりと

統制は総對必要

の各質量者と **和及亞米斯** 

階して問かれ 一部組合成出

死體を發見

〇二) 苹果を外回に輸出せんとす

殉職修路工

川膵既重調極の泥の中に埋つてる 加入天によって健見された。 0十二日朝七時ごろ清水町内部心 加水電路路上大統領のだろう 【清州】去月十四日米院迎野张川 題で国流に在すれて殉職した四 遺掘以来一ヶ月を程だ去

生産販路の擴大の自然要求

懇談會の陳情内容

四、陸上震校大衛、與南處與縣供後步 || 「大町」 東る十月二、三、四の三 とう選えしく行きよう 画見て | 第一日午週四時ごろに名の中部の日面部線 || 「千中の郷畝屋形の秋を くも各方面の興味をそとり大磁況 || 十日 伊週四時ごろに名の中部の時の信頼の金田子の東京で || 1十日 伊週四時ごろに名の中部の 新羅祭 既定は十三日午前十時から成則高 爽秋の風を切つて 來月匆々舉行 を避き町行列、腹腔行列、新羅行列、新羅師り、整武、龍興の四部 どが版々しく行はれる意定で、早 河、新麓越り、河街大路、角方な「岩男でき」と次男非然でもの兄弟は「別、新麓越り、河街大路、角方な「岩男でき」と次男非然でもの兄弟は町手提非

とする者及其の使用人但に以城の季託を受け若は仲介を持てん直接生産者より買致し又は販賣

相談もれた側から

果然反對の烽火

せしむる賃件安恒資本果総強外撤出の用に供し又は之

道知事に對する陳

河豚の中毒

見の死亡が大同江と高着したので、を困かにするため平成的勢人保教

猪群大暴い 大可面の被害甚大

總代理店 玉置合名會社

東京日本街島本町

「園域」大可面高州里では総立地」を決き放成した群性を飛沫を攻が、「園域」大可面高州里では総立地、中の城を連備、取職への結果十二十分は立一等の際作動を完し抵抗战地、中の城を連備、取職への結果十二十分は立一等の際になって大きる方が、「日本政権」を決された。

ちかく狩立の準備

懇談會の總意無視を指摘し

南浦の業者起

哲連聯場で開催された、隆進成都

及び従来の質線を考慮して振盟遊 はで成門後斯し門宮成典田野供蔵走

【争響】十二日朝建後間もない男

て陣情した

化すべく百長の難職と足山江港ので新川記悉職は職馬な呂民を明朗 例行し兄山江に寄手しつくあるの

は下村自長が思想に反して眼鏡を 「南西」四見ないのにはな水脈地

中止工作をなし十月組営、政務組

**電置相仰度、右部んで原帽すを耐し質情御調査の上適法の御意に反するに付係国は呂民の郷意に反するに付係国** 

氣合術の巨人

ランチ代失敬

密をつけながら代金を支掘はず安

年文し飯が温くないことに事寄せ

- 日邑内果西洋理島からランチを

万藝式な新のは人と名求る職業は【安州】東京森野先生二代目力度

とのことで脈組は無事の報に各別度方について超齢事から批画 れてみるに通知があり月下これ の歌語で体験監視的に飛捕物際 及船均承勝等は狂暑してゐる

女を輝倒す「日午後五トラック幼(清州)ナ

である、殿は独園東州「迎長中伽藍以下三十名で歴史版に長館及びモーモル発説を持つた武慶館である。殿は独園東州「迎長中伽藍以下三十名で歴史版に長館及びモーモル発説を持つた武慶館である。殿は独園東州「迎長中伽藍以下三十名で歴史版に長館及びモーモル発説を持つた武慶館である 現地に急行、差山守順線も融級出郷して範疇を攻撃し、交融一華間ののも敵は隅にまざれて心曹部方面に認知した。所か二人十名には討され、別域総議したが苦屋に協つたとの情報に接し、新雄州駐在所では晋田郡長以下出郷し、本発と楚山がからも

殊動の吉原巡査 対際した吉服監査は大正一年の生れ上の兵として兵役を終へて後昨年七月総立を判部

新義僧】十二日午回十時二十分領遣成署出版所国席維安縣第二院林江入口で新川駐延所の内を脱官院、鄭の唐巡査は馬線三

救援隊出動し撃退

本年五月結婚にたばかりで、整子一名は久しぶりで闘郷中、闘宅の途上にあり継く同様されてゐる

水源地移轉が祟り

質素に赴く途中、山林中で吃利な 挑記金相度でいるんな変とともに つたが一切を自由したので十二日 既以、ピックリして直に失の宅に つけてそのきる山の中に駆け出し 光たいのと是女は不散に思い別が は部林中の技で結死してゐるのを こから目論し度を含んかくなぐり いつたが、いくら辞つても出て みると見るも無機、最愛の大 

大法螺吹いて で他野蛇と協力取押へ不調客に計

部飲水道県で整役に戻され六年四 受作さらえたは治症はおよび 大田」 銷級聯發亞是爾邓里姓亞 宿泊料路倒し 続行を働いたものである ら放火 腕話喧嘩か

起代素量等一氏は各町部代の養か 起代素量等一氏は各町部代の養か

三日午前一時ごろ覆面の一番読が 覆面強盗 [光報] かである

く飛走したが不成功に終り交面に

母子の溺死

溺れる我子を救はんどして 母性愛からの惨事

職も立ち陰悪な子気も抜和すると話だが工作が成立すれば可顧此の 者推威の意見を有し取得にかいる。

が出来るものと期間されてゐる

候補者は更にないので學校組合版

一日午後一時半:ろ吉野町神野園 全権技成都廣直三郷里金駅方を要と 増加を終れる時に、流流中、海水・ 十億間を歴郷進走した部間所転往を 一週和を終れる時に、海水・ かいままん 十億間を歴郷ました部間所転往 後一週間を経てもり造形の水構の 所に随出があったので直もに埋疫が 優の 響き着らしい

脚を有いたが今に他人の蹤跡不明

【浦耳】凸部の緑道県

期日は迫る補項色議選舉

前議員擁立に期待

も起たず

の建立につき個器したが、水面地の建立につき個器したが、水面地 民の要求通り解決しない最り労働。問題で建に続きらず、同談師が自

|死亡||選査|| 「は雪|| 十 が何望なく見ると始人と子供と一 新護州教に会職・取職べたところ|| 立巻企等を駆取したこと部は、発 | 房の隣に衣真布臓を重ね御きな出てのの | 加養に教所なの記水のものと調節されてのの | 加養に教所なの記水のを一直打人 のでこれは傷が難だをばかり早逝 四十三回九十二銭の領が解および に持つて奏の任所回里就是処方の一定のものと調節されてのの | 加養に教育なられて、 「は悪無力 十三日 干明人時間到底 統になつた監水中に浮んで魅かね れ込んで教領、大法県を吹き項に | 屑人は喧嚥をしたが脈はこれと地・ れ込んで投稿、大法県を吹き項に「耐人は喧嘩をしたが駆はこれと役。る)と朝鮮語でやつてのけうすく 『朝子住底館に同金山技師だと版』が窓知、去月廿八日午後五 ほころ。オブソチーバリ』(金がなくて困 として歴ビれたが二十四日村県観(郷を魅んだのを眺の菱世属美/ほ)◆……ところで考へた名派「トン地を近近し去る八月十九日認北水・団織神合徳画遠田里大工販売買。 タレーではどうも何の女中に恰好地を近近し去る八月十九日認北水・団織神合徳画遠田里大工販売買。 タレーではどうも何の女中に恰好地を近近し去る八月十九日認北水・団織神合徳画遠田里大工販売買。

劾

周圍炎

FF 糜 燗 AI

痔瘻

痔出血 脫肛

二十銭 五十銭 一 曜 二 四 全國第店に 全國第店に

藥

裂痔

神宮競技豫選と三都對抗戰 米・七分三九分六今後擅三三分 ・一个位数性三米一六今原先後一 一米六七~左朝成六米一六今走 品雅一米六五~編典織走二分一 と 興留一面點 **咸興に凱歌あがる** 

する器であるがこの地方に於ては

禁密に変渉の上近く他の指行りを 力を面から郡に申出て来たので登 群で何んとも劉策がなくこの翻除

浦項水源地

行方不明の船四隻 果然抑留と判 浦鹽總領事が折衝中。の報 乘組員一同は無事

の有様を見て母親もピックリ、自一 をすべらし他中に落もこんだ、こ つたものである

普文に落ちて アベツクで里歸りの途中

光を逃げた、母元その他一切不明 日間を進行中朝鮮人が飛び込み韓 り、第七列車が京装線中数解、南

電氣工殉職

『新藝州』十一日家急和建山面々」に永田西に渡加され収調で中であ 同行の要女は仰天 大田様甲分局に逐歩された

北湖產業會工

柳内をうろついてゐる朝鮮人男を「平曜」十日午前等時ごろ平海野 泥醉のお客 瞬員に別な 北海産業株式資祉では四日天一島北海産業株式資祉では四日天一島 社會小業に関する事務を転託す 成北辟令(十三月里)

高葉取締更真を命ず (予通) 歴田 4 機能の衝離的領域の近極的 シはチト古いが周エシはチト古いが周エ に行った時の…… …何はさて文化 M

の范報を打つことになったが天暗 …そこで銅像の一般透魚佐町 てたもすち縞の脈布のかりいと混になつ を誇る大果以……す 元長間の高い食物が 痔核

言ふに能够 類が原係型音 めますが、東果新

ありませら どうすればと気

を高めれば全ての病を信徳に郷はすくめ難いものですが、特養

東戦物は 無際には 要するに 生活 中戦物は 無際には 要するに 生活 悪いか? 解はな のです動も埋 険額や復感の たばしては悪魔の厭悪であると 人の服ひなかった呼びでも、こばれてある。既べば大概す 異説のと言って機質を用ひる とは刺激的影響者であるだが せたが、肉は腹帯し切く 帯にスターゼを添んであるため間に はすくめ難いものですが、繁養を動けて背壁の機を変態者です。 促させることもあります。要す つて、局部の自血球 就でもその程度に依 鉄道し歴候の治歴 にして疾病部を状 としなります。又 図 言へば「小松澤の際」 左続一で 製り山上の様な集談生とならん 歌り山上の様な集談生とならん 何がある。 明が好く 理の様であります。それなら くと言ふことは、お思からの説 局部的にはこい 

ら早くかわかすやうにします、人はおばなりません、汗をかいたければなりません、汗をかいた。出来るだけ刺激を避って起るの。

言います、性質は配る丈夫で・良

チユーリツブ

播き方植ゑ方についての

一年生草類の

間違ひなく花を聞きます。配類に い大きな球膜を選んで積付ければ

ながらしません。ひやみに乗を 大学はらかい木部物を着せなけ、レンフラント、パーロット、ビザスになりません。ひやみに乗を エの繊維で刺激しますから、必一は早戦性、ダーヴキン、五月吹、 イナられ

チューリップなどがあります。

ら四月中旬にかけて映き、一重映早咲龍は草丈が假、三月下旬か

質であつて、先天性観察とは全く

なるので赤ちゃんはかゆいのでつ って膿み、一面に膨すでもかぶつ

> 春 0

花壇の準備

にやらなかさぶたになつて終ふの かきます。すると思ち態度が入 ・ピく)~湿つてたどれたやうに としの刺激でもおきに皮膚に赤

くボッノ、破疹が出来ます、耐え

るのではないのです。之も親から異から膨く燃がしまって肥えてあ

きいて確はかようとうに記れて それに潔透の出てゐる子は、

雄久林神(巻のクソ

1どでもげんきなペテ ギャ たいごうしこう 坊、ポリ公、あさのラ

2おてんきがよいから

3おや/

リックサックにごち ハイキングにゆかう

にくもがある、ある

めいがふらり

てやれば、球根がよく太つて、んだあとほぐに花草をもぎすて、豚い油粕汁を施し、なほ花の湯

す、みかははブクーと思っては、思へが拒れたものと想像されます。そうに見るたりとますが伏して、 思へが拒れたものと想像されます。

り、人で子学な結果を指来するこ 節を当化させ倫照を購入にまで熱 要な四り過ぎその刺激によって高

頭や顔に混ぎが出たり散や胸節が 皮膚に吹出ものく出来易い弱い世 ・ はをほどこさればたりません。こ 配うにき難したが、次で、職談だ継続の際は、是非解域個に無郷法、第で、おくちがありますが、之に通りあります、続からの遺骸、て集前にかくはやなどといって、までは非確したます。

**発くはき難へたがへ方で、腑寒だ捨てくおく方がありますが、之は** 

たければいけない、値する四部し

スープや果物の絞り汁を與べますいでせる。なるべく早くから野茶

(問)

80居りますが毎円階につか座販年前より常置下利

下

痢常

母さんも加つこい食物を然へます 人工等意見ならば虚脂乳がよろし

のはいけません、征れなりはお

物は、あまり脂肪の多い

よーく暗形はそつとして置か

もこらさらさせておきます

濕滲死を起します

くには、異郷た鉛部つまり憲田郡一かりといってばかになりません。

**歴色の場合のみを申しませる** 

出班機能とは過ぎその他一部のはボックリ姓んだりする恐れ

ど無暗に素人療治をして

に世州で赤ちゃんの胎が

花器—四方手耐能 花材—尾花、山循褐、林咲麒麟

干草みだれる秋の野のゆかし

赤らやんの胎毒とは何か

へ療法に危い

皮膚の艶色

エック・パックの方法

塗つて、髭かにそのまゝにして置

後近味を同じやうに一

らこえてずつずつと延び行くバカ したものです。あらゆる際歌を打 のお加手を根メにして記金體を秋 の色に盛上げました、つるものは

かとります(橋本梅月氏作)

投業業人業



す入院をした方がよい

に張く混合や、炎症により冒険の一 則の厭困としても胃臓内容の異常 語な症状である場合があり、淡下 単に下痢と云つても之れが封體の 有用な証状である場合と有 本田博士

所が、日生五升は入つこみたい、火

「復興名の語と共に米を続べる。

最大の

史

!

信賴

上三斗四升五合山に成つてゐる。

品質絕

對優秀

家庭

の經濟は

この一瓶から!!

揚

替

書れる米を扱ふために斯う云ふ事

版三 手五升としてあつたっそれ

の手貫を収鑑めて、郡方役人の部

奥平領分の名主地は、村方から

C7.

らことになってあました。

日を選み、雨人を炎婦にさせよう

お鑑にも否やはなく、追って古

と思ってゐると、其の年の秋の事

て銀に、大之助との縁頭の事を

伯鶴 īE 美

話 變なし

ンガラがつちやいやよなどと

ピスト、

位それも一ヶ月三四回の下痢で「もので、突はず欲の分泌に進に進なりや下痢は腹痛なく一日一回」刺螺旋飛性があまつた絡めに基る

が、その中には「人の女教員 人の女徴靡、三人の女タイ 人の女実容師、教

あらゆる態要打倒諸君は今迄。接職、一人の鑑賞、一人の概了、一人の概 食ふものも金はずに生き一米、欝、散人の影動者が譲つてる 生さればなられー失業打倒っ △…『我々は死にたくない ふのである。厳勢 スの機関が思けれて面白いるのもいかにも現在のフラン る。かかるレコードが許され



▲プランスでは頻

がを向ければ間質が世帯されて「効果酸です、近恥はまた過量販売行くと共に今治どんなに手間を、人工太陽原統氏なども行はれた思考にあったやった顔面 に、人工太陽原統氏なども行はれた思考でも継続をはボイヤっに て居ります



しいでせら

笑面になって か私得くと、思はず、にんまれと

は魅力

すから、金力に使つて此の継載を と、云つた。心即太も、それに

なる。中身は、張鼠皮の作である。」 選の事は、軽三素りました!デ 此の腰の刀と上羽は投稿の有に

でよ助此事が巧く収記したならは、関いて、五合の米をすぜてしま たか、新る事があるとも知らの諸。真石しか上らのやうに成る。 合の米が五升に成る。

みるから、三半四升五合の米をご 五升に記るかといふに、慢中の袋 郡方役人の下役共へ胎路を贈る。 交、米を討る語へは金が掘つて

相應しいので大好評です。

色褪せた御召物をみや古染で 禪梁が忽ち出來ます。 な素人の方がお染めになつて 染料で模様染しますと、どん 無地染して、次にミヤコ友禪 慶物利用染色に應用し、 此染料は手敷のかゝらぬ事と 素人とは思へぬ立派な友

の方に直ちに御送本いたします。から、どんな初心の方にも解ります。から、どんな初心の方にも解ります。から、どんな初心の方にも解ります。 色治本學 碗版七十頁8000十數種—

東京市日本橋區小州町一丁目

つべきだね、下の方 えらいぜ 4と、そのときこつぜ

にちかづいてくる い男がしだいに二人 **んうしろからあや-**

た。現れ人つた

したが、此の七郎太と云ふ男は、

どこまでも脱金に出来上つてゐる と、斯う玉つて、急に機能を頂

い。何しろ双方共命様で御磨いま 他に見と申す妙計はござりますま 『世と罪なやうで御座いますが、

上つて鰻のことは思ひあきらめた太夫は、指行も六右衛門の言葉に ハかならず成就さして健康に入れ 変で、如何なる相談が出来上つ

を平雪の願く奴である。既心哉し、して金を取ることになつてるた。

斗五升あるやうに計る。

耐方から一人が、伝を立てブッ

かけてゲーツと引立てる。スルト た。只、災難なのは領主である。 ひ、からして計るから二 半四升五 げてゐるひとりが、その優に手を も公然の秘密となって行ばれてあ その時股間に下げてゐる鏡の口を 十重行上ることに成つてゐる年資 新ういふ事は、何所の年資米に

を入れて出とまぜ、その上に少々肥・乾成、過路散仕灰、油粕など

植穴は六、七寸に掘り、

虚に単





東州庁 白山丸 帰留 九月 三日 東世庁 大洋丸 門司 九月 一九日 東世庁 大洋丸 門司 九月 一九日 中国 九月 一九日 一四日 上日 一四日 九月 一四日

さうつめて たいがいの土でらまく出来ます

草木碗、油箱、豆粕などを入れて 肥料は抽付の前、他でに堆肥、

來ます。
変年文章派な花を見ることが出

ペてから土をおかけなさい。植針 し、球鹿を高低のないやう手に並 日本としてなくてはならないもの。 日本としてなくてはならないもの。 の花としてなくてはならないもの。 近の厚さに土をかけます。植母のの花としてなくてはならないもの。 近の厚さに土をかけます。植母の です

時期がまちし、になりますの混合がそろはないと、花の吹く

せば、用分ありません

これは兄本の僕に念を入れて、

リと小口を切る。スルと、佐を下

賣發新 ミヤコ 友禪染

これさへ讀めば

染色の總でが解る

九起通行 既延校 九月八日北二日 九起通行 明日 夜年十二時 竹 邊 行 解日 中後九時 八大龍田代 四日 夜年十二時 一次龍田代 四日 夜年十二時 一次龍田代 四日 夜年十二時 一次龍田代 四日 夜年十二時 一次龍田代 四日日午後五時 一次山田代 四日日午後五時

な素人の方にも

立派に染まる

紋染 染 色

染

等 ħ

對局者の言葉







活用の時











鐵道森田投手 回復した

堂の 檀には ある

6 党

(1) 日活日活日活日活日活日活日 

社會式株業通管日 元 遺 製 中 2 4 点 限 曾西洋北社自式機

Antio, et

浪 花 亭 複界圏一の実音石門子 特別加入 **技太郎一行** ル月十七日より 一十日まで四日間 **廣澤緬右衛門** | 場削城京||



周龍に各局間の折合ひを終つたので十三

今週中に計數整理を終へて

相首の線戰民人ふ迷

とみに尖鏡化し來つた

東江流の態度を置けてるる トロッパ諸國の勢力花野に馳し歌した。 スペイン革命から瀬出する中央日

NUT たので 帝国政府をしては

暗躍を 瞬けてあっこと

よつてスペイン革命軍を援助する 治師近に働きかけ最小展度的輩出

Ł

以が少いといは

数メキシコは

酉

中病後の人は勿論、激務ます。従つて虚弱の人病体質をメキメキ選趾にし

店商郎三茂本山

に威吸れるわ

同語以上に敵たるプランス有処

けであるが一般関係政路では男 定い理由として支明が古いか

家

る人の滋强飲料さして絶家、運動家その他あらゆ

好最適です。

**塩田真相は十四日午町八時自動中** 

本体表のため質問の脚階に聴いた

首相歸京 [東京監古] 選

にはたつた五十四萬しかなかつ於ては遠談の増加で一九一〇年

但し総人口に

たのが▲今では百二十二萬とい

間四個の絶え前のなかつた図だ。年から一九二九年まで殆ど世年 る上摘してゐる▲何分一九一○を沙漠の砂に吸はした結果であ 職者で同胞相違みあたら若い信 いなどとはいはずる水平の革命

生長売不

代理店

店 木村県 房 馬店 木村県 房 地 有名

で四罪に出で同九姓五十分歸京

獨の反ボル闘

ごろ拓務省

に詳細説明をなし、午後は鶴野宝郎におい で南部督に飛出をはし一層部内の観成手段

は一近、生石南麓の挟盤によりスペー

三十腕病とスペイン既何用の二月 新せずと厳酔してあるのはソウニ

良いの

北を理理するをはず、

これに對してフランスの右葉。而聞

買飯のため出一次大船業師である

門凱に到する原医伏定を原能一一般の英相を要望するものとされ

ムの赤の一線が強く パリの心臓

一去る十日ニュールンベルグにお

の歌を興へたものである、

ス質大質に於てドイツ別人の生む一部統はニュールンベルグのナテ

に於て動物民地区限の一大水威を一人領地子の他ペルリン市内の関型

は▲外國にはないことでメキシの人口が自二十二萬といよ則合

人口分布にも現

5

列六頁

図の組入ロデ六百萬の國に首都

ある▲それに低

ひつょ今日に並つたものであるが

国がにも記る職

事質は全くブルーム内閣及びフラ 超が今までの民族的貴立を超越し

「製売によれば帰園フルーム内脈」

るべしとの決勝をなしこれが目的になる實施を受赦せてごとなどもプロ機動のために銀行級、大線を数して對スペイン不行以開級の最近に対した対象を対して對スペイン不行以開級のという。

中々には大野政治語版が東上市央政府と本 概務省に別し説明をなし十月末次は十川部長が原上して、「ご様様務局技が更ら

格能展集組成指揮に入る許等あるが、明年

は日曜にもあらず林林務局長、水田市は此

は素よりその他如何なる命令をも接受せずと稱して反目的氣勢濃厚を極め一部は北海の声中四月間。強重緩大非常地域によれば非常一角を開催してるる十九階は時代も最及び西歐路部局からの撤退命

した。 清情

質協者その他に對する見舞金四萬 **巻五千圓、船船の流火金園その他** 

る記載金十四三十三万二十四

支出されたものは死者に

が、十四日地在による懸急間 U共に教護の選位支出をなして

ハ于頃、炊出その他に一受給十

**帯船間が東岸技となり再後は、大野町** 

有效適切なる撤退制告を爲さざる限り十九路軍の撤退は實行され得ないもの王見られて鄭る潔書にして昨日の深熱意志をある、かかる旅感では我觀定成の上陸は愛く不可能でこの際軍艦又は飛行機に依然に同地部のアランスその健保養人の總質を研究してゐる、一方各限宗嚴謹も日本剛觀式の上陸を拒經してゐるなど規則の至外を因めてをり目下の形勢では小舟すら近寄らせず、また殿館の集體員入れを開閉し発調過は二切社外を因めてをり目下の形勢では小舟すら近寄らせず、また殿館の集體員入れを研閉し発調過程に一切社

なほ中野島の死龍は権に入れたま<br />
▼回慮かに持ち去られ行方不明でまた安全を報道はれてある回氏の家族も今の臨消息。

ける正式交渉開始

川越大使が張外交部長訪問

の行民各方面の版成者を網絡す

一郎へられる教育制度収革のた

下時年朝田洋相と智見雑説教育。東京電話)平生文和は十四日午

段階

十四日退城出於衛星城

月頭に男の派を先らしてゐた。遊騰無量、こみ上げるものが

こ 上熱い様子なした

見受けられ干名を離す人の

がなけるに

立つて、大気焼りの

京に育すれ郷の放生よりは水

八平の間、頭鮃の

今田中さん!一人に駆じ入る。年 王、さ上なら」「御機跳上 バックを描いたことであらう ろよ

**承族も全く消息不** 

野氏の死體は素より

## 新營の氣駸 日滿關係完成に邁進 の活動等により健實なる網示 ぬれも独盲を奉戴し更に協可 とつゝあり、國內五族の人民

# 承認記念日に當りて

を受け世界の政論亦意々たりしん心た任安定せず國際聯盟係還のリットン調査圏一行の来源後の建國以來議に生養にして國内の建國以來議に生養にして國内の

共榮の本軽に基言菩薩關係の確方到外限係に關しては終始共存 制度の整備環光を行ひて治安の 更生のために選進し司法緊察兩 税制通貨の統一を発行して國民 確立、産業の則設、交通の設達

邦日本は本年五月我に對する治をを要望しつゝあり、この秋盟が顕と何等かの關係を樹立せむ 業に励み層質 長が現狀を見て果して如何なる 妄斷の言を 成し強けたる我の処理

香今日

厳を行ひ、その都度質行に移して

方、道常局は本版と折倒す

際急情遊に就いて既に四回の行

より初めて戦闘の承認を取行し、 日本國よしては またしく認識不足であつたくめ 「新京十五日同盟」大同元年九」 た常時我國に對する列約の興論

張外交部大臣談

て完備の域に達せず現等は心臓内の質情は自般の事象ー 國嗣係の

一貫不断に 取得を提明せられた日本機の間であり庭中であれた日本機の間であり庭中 開端屋と様を住にする決心を 以て承認を満行されたと認ることが、我園民を 認著せしめ 我園 したることがをおれるの所で適に たなっとを をおれるの所で適に たなっとを ない ない ない なるに 本年六

単の経版は発図上下一致協力し

「東京電話」『東欧の研究的では十一した結果石は日下級 研究會の初常務會

式各派交渉官を開き各級の打台 新議事堂落成につき本月末非公

四日午後一時10夏年みあけ初常一にて考究中であるか

問に短煙することに 得つて収めて

についても沙里二十日を数十日

上の附につき組入機

意見の交換をな

いその結果を

むリウマチスは神経痛や腫れて

や腫れて肩

かうすれば快方に

五年十年の難症も試みよ

秋の治療

### 前月前新石档或災難亡而不思由至 華府會議裏面

文文書を鑑支したが石文能によれ、歌詞が耐感すればいイドショーラス関語省は十三日一九二二年の外、控に申出たと言はれる。アメリカス関語省は十三日一九二二年の外、控に申出たと言はれる。アメリカ ばワシントン的議に先立ち日本、 今日に至り暴露 さる

イギリス質局はワシントン種的に「蹶したフランス、イタリー、支那一般組まれる人態が勝つてゐたが、」ならしめると同時に既に發揮を變角別用カーソン體學が提上に「間に明く結果本節識の處果を開始、本際に172年 **発物代謝を山地することを異議し、治館代表を禁間心閣之直にバー・イギリス。アメリカ三海東首節の ダ、ニュージーランド、落地合自イギリス。アメリカニ海東南部の ダ、ニュージーランド、落地合自 側駅原に極東側壁について東南螺(はれる)** バー・バーバーアに戴岡・太平洋 ギリス戦府の提言を一蹴したと誉 允立も日の米三国代表とメーン州|| 各国政府に対しる賃貸場だとしてイギリス當局はワシントン傾向に「蹴したフランス、イタリー、支那 た単質が製造された。當時イギリ バーバーアに筆る思知込みだった 

喀血叉は吐血後・・・

劑

なつたことを示す證據です。 腹用により増血作用が旺盛と ペトーゼが貧用されます。連失はれた血液制給の目的につ

血增

電力問題の檢討 三相會議開催

光立し日が米三個代表とメーン

中側上行及的地かに大綱案を決定 問名に於て顕微は紫微龍共産位の ・ 力用の可含として になったが感。 ◆ 力用の可含として が減し今後これを中心として 共通では になったが感。 ・ 力用の可含と になったが感。 ・ 力用の可含と になったが感。 ・ 力用の可含と になったが。 ・ 力用のできなが。 ・ 力用のできなが、 ・ 力になが、 満世長を従へ全州 五二年後二時

でいため新京に向ったが十 後二時五十分入城、一泊 後二時五十分入城、一泊 後二時五十分入城、一泊

平町二ノ一四九 町二ノ一四九 町二ノ一四九 我のため同じ

活

朝夕一杯の「蘇命酒」を 進するには………先づ 進するには………先づ とりて颯爽と躍り。

充實に著効を奏し、 虚弱 京!疲勞回復に、 胃腸强 泉!疲勞回復に、 胃腸强 の源、素晴らしい青春の 愛飲せられよ!

三町修道區東阪大 元階級

部件の授生につき国民政府の に関する第一次正式交渉を開

**野群氏を訪問、成都、北海南** 

に決定した。右臂見に於て川越

三里の心臓を衝

かに自支援受励器に乗用すべき を進正して行くことと連んで建 大阪 に対しまる では 大阪 に対しまな 人 に指揮と いか ことは 本 川東に介するたらに近っ様に行用 見を切り に 場てを の に 近 がら は 日支援 が が に 対し と で は 一 大阪 に 一 大阪 に は 一 大阪 に は 一 大阪 に は 一 大阪 に 一 (南京十四日同出) 十三日入京七

打合せを終つてあるので野山氏上一野である。総職を競分量の所介石氏とも十分して根本 群氏との意見に依り我方に型する

して大所品所より話を進めて行

事件でのものよりもこれと関節を、破壊二つの途がある自分は

後に到しては既に災害一

一日中間後数度の折断を行つたが、みガレット通問機能相の通問気は

木だ藻洲総析の添向が不明順で啊」

上業の配料を同詞、南米、ニユー

夕刊後の市況

と紹入口亘二十二萬九千五百 男五。五典九千三百九十二

十七萬二百四

である▲四部す

**那側でも関する場所では、一方文 て川部大阪は中間き間などでは、他つく現在の際に要求を追加に依頼し、除を求めるものと見られる、他つと現られる、他つと現られる、他つと現られる、他つと現られる、他つと現られる、他つと見られる、他つと見られる、他つと見られる。他のと見られる、他のと見られる。他の** 

て川越大使は川門き開京に前在し 職用氏と交話を限けるとはに二十 して根本的自支国交副艦に掘出す

り國民政府の態度方針を説明し際 水害應急指導 したい心脈である 支出額 十四日現在で

闘しその誤ばを致した、之れに引 歌歌師を設けて遊び教育処長川の を包含する全般的な制度市具概念

差支へないが軽粉破寄年限問題革のため証拠等を設けることはく實行の時代である、全般的敗 具體的方法を協

職れ解析選毛水の不良を置行する輸入業者の意見は最毛の質俗策を 高い説師であつた川京 見られる節があるので我

界施に研究方面に及ぼす影響係際◆佐々木墨田氏 はずしてに特に製作者等に方にて美 統役無職業所長) ると現在男女の は歌歌演者によ

> ホルモン 盤 刺 -

H8 239

第○○ (1月大十銭 秀俊)に 第○ (1月大十銭 秀俊)に 一○ (1月大十銭 秀俊)に 神 (1月大十銭 秀俊)に 神

化すると共に、顔の血色を上次いでそれが成熟赤血球に種

哥 春

Hepatose

贈続角の出面のみを見て、他の 中道の目的のために職結すべきこ けて、ナチスは世界に指抗する 副總理へスはヒトラーの内がを受 野人団ナチスなの際において、 「中道」を歩むとい

次編 これた十九路単銀長 人割は四川省に入ってから飲鑑能は何れも海外にに能したが発展 来の十七路電兵士は二層底で他の

遊機を大七節長として勝る量

て三動師を構成し着原相、尸活・生

単例、子を中心として、南方に髪

目下一十川路軍はボール品

元したものであるが軍隊は前告を

と配した腕章を纏いてゐたさうで

京樹は飲谷前日の英雄に祭り上げ

後十九衛車は腰西省より層地し出

られる。 同地方は陳漢紫

目給自足を目ざ

|海事變後の動靜

說

支那問題解說

脳氣の

犯人の背後には、抗日医衆激體を上してとしてい、子中ではこ仮を出臭に第三のために接続に対た。一面に絞りれ現底単純氏の第三線に 成都事件 前時後

下に版西に復命し、新公石の中央。軍が再び當時の軍長斐成借指陣の 狂然的な財日砒報をやった十九路 主文インテリ階級の支援を得て の古城といふ小さな町に十九路軍

としての國家機構の完成を急ぎつ **小されてある。即ち小規模は世** 政治は、年面においてラ

商選者法が認動されて以来、軍事産業に関して際家の魅力たる通

を連ねる一番の皇軍の矢盾に立ち は一人続らず微鏡され発明を顕満。 上門パーセント以上を占めてある。 年と共産策の職事で明ちらの計了 | 昨年の金幣人部一度九千萬州の中

踏破り、共通の教育と教養と全点 脊髄の意報へと放へ器くことを供 の政府を行う、労働者住は民族共

・イツ國民が皇時日の間にナチ

して、何等深く機器するところ 感じの上から無反省に の経済を取り

すべてかその大なる衝撃なり 商本工作も、民主へ近も、 門產主城山、 目目正

が開発されなければなられとい

最も古き形においての

**ぜこへぜう新街路が** 

豆凹

かに一パーセントに過ぎない歌歴

然らばこの街路湖南坂は果して何

能も重大なものは交通影響。立されたものである。この制

綱が定められたものである

熊黙なりを破器し、新らしき頃

位的の編学問音計能が確立された 個青斑跳に大量である の無学個がは明治哲学以来属々治 の歴史を振り辿って見ると我が題 との弦の細手が飼育されてゐるか のでこれらの順産毛動物がど 見よう。先づその前に権主個意 も曹福北等の大角を掛げて橋下 內地に一種 7枝完

血道は約一パーセント、郊外では「楽器をして海楽の市街地形成の大」風向等を斟酌して真全の計画が動 中心とする地質里温、西部は遊び里をとして活十里温、南部は遊び里を 心とする高端里温、往十里を中心

文明と狂想 **萩原并泉水著** 

め、新境域の振聞の必要を認める

栗は鰹粉泉の直路記述などは岩鹿の状態であるが、これ等の家屋建

川総(永京浦にて泉坡 ― 変山総

でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。

された小馬 雪中から救出

此返にあられな地壁を辞れのであ

失し、姿態に、自振籍の支払いは、尺にも確る含に埋れたがら三温間 上海事後、の一帯でなり中を渡し遡つたれ、鷺に堆雪中からにある。

九路龍は揺かれて巌西に入りその「都紫東省に入るや、父も北南事作」してはあたが、それでもこの馬の の反勝斯選起をやす 断寒日の艦を蒔いてある。今回席。七嶋にすで居だのたかに相當芸術の方がは、中九名第に歩え、と言ふ、なにしる。月五くも原ま 「旅の原館に伝と言ふべきに比較で、もある河を帯をとしてたつかしを起す等、十九番単は者に日支陽、奴とはど縁しかつたと見まって、 飼育してみるとその適りになるの るという産家にとつては、石丁 も四島もの話である。これが質数 一度は細帯開散和思者が多すぎ

大に翻手回音の推移と羊毛収扱

群場、栃木、秋田の諸縣で産島加

何**育の現狀** は有の東北地方順に養露地方である

個音の能んな地方は能量、水関のかく概く単原の観響にある網で

上頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭

王として内地の現勢を見る

12.九量 (M. 1990)

といふ能能である

● 遊かに品質が整るので羊毛の代 で、これではいかねと勝立したの。 東を完全に務めるわけには行かす。 かご十五ヶ年計劃で顕字の自英頭・

進りたカ今次の制豪通商御交を明 し農林省は作士年の報毛生産局

学されたとう。「「」」、「四個に関すすると来に音組の歌る起度の報名。 五ヶ所に微けられた能容器で解盤を繋が園として、ため似年下五首魚の編型を輸入し

の干分の、ヒすぎね現状に薬足さ

らなる(一組五十藝京都市河原、「論理、讃歌、化帯、難の十篇思技藝館、婦人問題、市井・寮内は、政治 と經濟、學問と與者

民工業

那の分園策謀と日露戦争――【第二篇】日間報報学と支那の外閣干排行政。(第二篇)と、「第二篇)と、「第二篇)と、「第二篇)と、「第二篇)と、「第二章」と、「第二章」と、「第二章」と、「第二章」と、「第二章

一代表作全集(全十卷

書

新しき軌道

◎本書は日満支の一の一の一の一の一の一の一の一人で明はカーの一人で明はカーの一人で明はカーの一人で明はカーの一人では、一の一人では、一の一人では、一の一人では、一の一人では、一の一人では、一の一人では、

信の源泉だⅢ

上紙布表裝 新判四百頁:

定價一圓八十錢 満鮮支三十五銭

意義の開展に外ならない。
満洲事變は、この日露戦争の世界史的満洲事變は、この日露戦争の世界史的と、新眞人類史の第一頁を開卷した。

◎日本廃戦の世界史的意義は、かくて、◎日本廃戦の世界史的意義は、かくて、の日本廃戦の世界の関係をに、一東亞諸民族、世界全人類の将來に、一東亞諸民族、世界全人類の將來に、一

意義である。 れが、本書に所 いか、本書に所 とて世界史全體 となる。 をつた。東洋が

別、 類の内敵、公敵でなければならない。 本の主とな、自己に課された絶對的責所 することが、自己に課された絶對的責 変配が、亞細亞の天地から退却せざる 限り、日本の行動を妨ぐるものあらば を記が、亞細亞の天地から退却せざる は、日本の行動を妨ぐるものあらば それは、亞細亞の天地から退却せざる は、日本の行動を妨ぐるものあらば それは、亞細亞の大地から退却せざる は、日本の行動を妨ぐるものあらば それは、亞細亞と、朱

**才を以て、血を優し、人類觀念已人の昻潮とない。人類觀念に関せずい。日本擧國に、一大轉回し** ○ 日本の職者よ、軍人よ、政治家よ、教育家よ、日本の世界的神聖使命が何であるかを、一日も早く明識し、徹底的ではながいか。これが爲めには、先づ滿洲事變、遡つて日露聖戦の世界史的意意が、紀元二千六百年記念準備の第一要を新でなければならない。
 ○ 日本の職者よ、軍人よ、政治家よ、教育家よ、日本の世界的神聖使命が何で、立れが爲めには、先づ滿國ではないか。これが爲めには、先づ滿國ではないか。

變五周年記念朏

+

大学(大学) (1 第1 中の) (1 第1

・ 思想問題の徹底的解決は、本書からだり思想的問題の徹底的解決は、本書からだりを主、没落白人の跡を追ふて、共に沒落する業」たる所以の徹底的論明・・ 表述の人類主義的立脚點の闡明・ 

理想的人材

新本さんは日気が人工と

鈴木文助さん

歌を観けしむこかくれた雄原宝で 選弾の細胞を観けしむこかくれた雄原宝で 選弾の細胞をある。

数、共歩を任め計判に過ぎるとい路神の部系、作典に直し、死に京

く物凄い迫撃戦下の

して躍る

(B)

ところ、水水敢で難せざる。| 一一と | く……しかして発来さんは他力にられた保在である。| 自己の | ず物理の傾置に承認たく、しかも | ◆……しかして発来さんは他力にられた保在である。| まさとに於ての特別的保証である

水火散で離せざる。自己反省につとめ時流に削かこと 念こそ今日を一葉線に然ゆる桶にみる原葉の士での瞳調なる信を膨れて肚準にみる間は、新収の

脳現金で否、田を購入して記 生の不良の身を配生すべく く給風されたので非常に関節 時間から多額の数限金を

【季山】 商館の背面空通気成のた | 十二日間地方視線に赴く筈であつ | た臓像方面に少から真失器を興へ

に中止となったので守

た、現在の狀況では守山戦権の架 | いるのでは、「一日二十五五四を受し図

關係者を失望さす

風水害の餘波でけし飛び

真都となり本年二月、近前防御

人院的なしたが後に足事の

**永同面事科所 新築** 

開発所は近く新築工事に着手の 「永同」職態の意気に起つ凹内の

連びとたったため無い音と同数型 とうもろ

に他良さればい

農會は防疫に大重

一本で細太下の書ける 南面書 日本字書きに適せる 普及型

野島水害情况報告 の選支局来訪 の選支局来訪 1.肇支局來訪榮例2.杨丰任 旭仁郡 長 水害血視察に出張 水害血視察

七川軟式野球戦 郡へ、十一日本社に華支局来訪 高社會 標前錄聲 金融資金では、100円の場合では、100円のは、100円ののののは、100円ののののは、100円ののののは、100円ののののは、100円ののののは、100円のののののは、100円のののののは、100円のののののは、100円のののののののののののののの 8 良 服供子·一外七毛 我 時 揃 必 呈進報時

てそれかく犠牲を嫌ふことに近傷 なかったことは慶多の事態が職則

豫選の日取

選録に一回いづれも数なく當過し

如き論ずる要もなく衆目のみると

認むべきもの、鈴木さんの頭のよ

立志傳中の人

崔俊永さん

特異的なものであり、大品城の将

し四年日には實業に志し酒以懐奇

に貢献し今では元老の一人として

たり懸行される研究蔵部の建行と 警報豫行演習 事變記念日

米倉會社が海運にも進出

仁川二汽船會社の合併工作を進め

将來阪神航路にも割り込む

で第二回第二回第四回の

打合せ資を開催、左の附

否を行ふことしなり日下戦優中

鎭海邑會

路の維持経理 路の雄虎修理、夫役職職、極業職関節、十一年度史正理幕外有報道 十四四十

して金融事務所では十二日正午か一念日を迎へ清州在地軍人分館では「武許事項機関の附などを附議器

【清料】来る十八日の補刑事修記

清州の催し

男子中等卓球

金成鐵 三一 朴松直(林)三

殿のための一つ

→女子走吊跳 -文章 | 米五五3山口艇 (同)

根押事から北 配馬弥主伝が 日名は十二日牛 日名は十二日牛 日名は十二日牛 

其他各种有 一周力用 一周力用 一周力用 一周力用 久。 製・ 粉• 機

石程的 一丁目 長壽圓

自なまづ

**江華郡兩主** 

から、一般

藥

せきつね紙 (營業案內呈) 支店 東京日本核小傳恩町

一笠町コート ・九月十二日 ・九月十二日 ・一般はは

6の1回、中年後三時半回

グビー

原際 多 鈴 寺 尾 真 一 商 店

見本特價提供(副業並好適)

動を無へてゐるが今後期に海通界

**海州] 沃川郡安內面縣里消防手** 

給與に謝し

更生に逃進

機に於ける用三部級合的院

節海洋社と仁川で鉛質性を経球社の小型浮動をも発売して電場部としる注目されてある・・ 方面にも進出すべく既に仁川の初一中であるが、なに新たに玉百剛級「ばならないので今後の成行さは脱」 格極的に 輸送すべく目下その側面 して海陸とも積極的対策を誘せわ

「はのその他の巡巡業者に少大の節」京畿、忠宮・東連名版界の観読を「賈切すれば朝鮮迎巡にこれに別范」 「ためその他の巡巡業者に少大の節」京畿、忠宮・東連名版界の観読を「賢してゐる板機で、鑑つてこれが「影響である 「世上巡巡を明業して毎鮮迎巡をは「受け、行く~~は兩心を合併して「野してゐる板機で、鑑つてこれが「影響である」

水原軍浦場間

京後瞬間通常時段直され 段名しにも逃げられてしまひ、

かが脱郡族旺面三里中貿秀氏は日 あた東浦県。水原間の停用国は | 明っ霞虹の霞速までは顕像を繋ず に
取べきれず
逆げ出した
ものと
鞭
の
遊
行
不
十
分
の
た
め
天
と
の
闘
旅 所職署に就論副を提出した、保証方理査の結果去る十日やつと経現 が取職べの結果この若要は未だ

四人目の変金南伊(こ)川何れも

スポーツの秋讃へて若人躍動

不振ながらも一萬米に新記録

たが何れも永原させず歴史四へた

デ)は今まで既に三人の寒を娶つ

「高麗」 面他山崩蜒大指兵男永民

笑事でない 早婚の弊害

その新築色成乱的顔を兼わ側鮮雨 が十月下旬までに終了の群なので【大郎】月下新築中の安東税務器 遊協選大邱支部主艦の下に十一月一

| 像の電視を求め近く請願所を提出 | の電視を求め近く請願所を提出

馬山防護團評定

ルー市の複線下型を機能にそい

陸技選手權大會

対映出で

等三岛、四等岛山、五等速必等本山坟县、三等大山坟县、三等大山栗▲(統等本山坟县、三等大山栗▲(統

セーラーダイヤ ¥.30

車

驿 3.00 ¥ 3.50 ₩ 4.00 蘇爾出張所



<sup>独</sup>手廻製粉機

お臺所SOS

馬山署奸商取締

の五倍 の五倍 の五倍 の五倍

こしの秋 郊外風景

> 焦菜類の暴騰は不斷の五胎 あるので展団塔では嚴重な取締を

> > 有志を起となり十五日水腹線島で「一般の事、都守、署長、国長その他 水原の映畵會「水原」

達してみるが、燃染色の速いとしてが、同菌の液圧は電影的に酸粧の申込みが絶えす世に五十振凱」の単く足では岩古舞むの行揺であ

斯業工田保久 番五00三東隠話電

清津」路が漁用に入った昨今取べ して蘇睺側の形態指導加事性が

秋五野塚大郎の景ある駒岩を挟す。速塚を唯一の武器とする山中投手

彩村組の段勝版は全市の一と均衡のとれたチームカに附着し、に買けられぬこの一般は屋間離に

る岩村投手の脚球に信息をかけ瓦

に個別岩村借しくる取れ即く本社

**焼失した北鮮製油** 

【選撃】本社管原支局主能全管原一人点をあつめて八日舉行、謝敬は、特村は大震路一の各投手と総はれ

岩村力闘して惜くも敗る

會寧の野球決勝戦

▲十五日午後一時 ――四時、曾一班)左の日禄で行ふ 「知)左の日禄で行ふ

【異南】第十九師園の地方馬挽丘

頻々たる 漁船拿捕 清津の業者 對策を協議

質品では政綱に原金を貼してゐる 人の人犬が出入して記述するので

**廿日頃から始めるが経川五六千** 

切迫した失光なので散業者は今月 り然に同的なの機能手機関連刑も

末本府の繁備船所風鬼が消池へ起

個出版方針について重要的語を行

火花散る接戰十合

き三者凡思会認識大利三旬、金左とす今大回(岩寸)田中投手調子づけ投稿中野一旬失に出たが二雄成らば投稿中野一旬失に出たが二雄成らばな過じく領域)率一羽両、戸田

優けられ大郎の第を別じた (職員) 泥であつた 植大郎突球長より前駆大和選手に | 許したが人

支局長の手を記て前型招手郷に彼一館を明成し一般所民に無料物院を

許したが人婆祭と相俟つて願る感

八百五十名 羅津へ送る

毎日約百名発派律に確認され消費

祝師する窓際の無路原は小田本は かくて陸の遊び位式に終り間者を

次打、大井四球に出で加速に金 で設定の追撃物捷し令七回(岩 で設定の追撃物捷し令七回(岩 の大田では、水内四球に出で三

五名《行方不明 板に縋つて漂流中

方主が間では形が即作型の毛

理への官民と操ジを交し、二河支 視のため、十一日午後一時能基か ( 議連 ) 小田仁川税關長は初度巡察 ( 議連 ) 小田仁川税関長は初度巡察 ( 議連 ) 小田仁川税関長は初度巡察

九師團地

開城」「紫命団城の人衆門都に十一百海州附近の神合を中心としてを

**網と腰斬刺網の大量登場で放射は「中であり五六百を所の底角網と共」であるの脱離には膨縮質量)方ならず半」と駆けたゝめ木半は単地関土線、「低し絨珠の可及低種小を曇っ意向の脱離には膨縮質量)方ならず半」と駆けたゝめ木半は単地関土線、「低し絨珠の可及低種小を曇っ意向** 

採掘始まる

出席者

約千二百名

白蔘製造は二十日頃から

人夫の取締に大童

|の姿数に遠した、なほこの外に大||他と打合せをしたが編述活躍を申 | 十一時から新世暦皇の落成式を暴||的後成戦|| 百名、その他二百名の | 心に各脳震地の難伐を菲却に出戦|| 行、庭茂であつた

を基され、根無は鬼謡と指揮漁業の「機動刺繍は昨年制政治で試みられ」漁業の機能成り満と活躍が、機関のとよればなられ、作用、活躍した。 の漁船にも無能成り満たされ作年。四五千回の仕込で試みとれた。平「衛も渡りするものとみればなられ」なに統立場の復居に近付計四頭、 の漁船にも無能成り満たされ作年。四五千回の仕込で試みとれた。平「衛も渡りするものとみればなられ」なに統立場の復居に近付計四頭、 の漁船にも無能成り満たされ作年。四五千回の仕込で試みられ、漁業の機能成り満とば難試する。 のとみればなられ、なに統立場の復居に近付計四頭、 の無明網との総事が織立され作年。四五千回の利益、指を続け出頭その他の出放することでは、 のでは近にでは、 のでは、近日に、 のでは、近日に、 のでは、近日に、 のでは、近日に、 のでは、近日に、 のでは、近日に、 のでは、 のでは、

漁業の機能成员網と路岸漁業の「機能刺繍は昨年削積後で戦みられ」漁業の機能成曳網を接觸対事の機能の「関年関大漁別に入れば附一度に激化すべく軽度されてゐる。」に指岸漁拐は大人領域、自然融合

面) 鴻福台 四時、鏡城郡(鯔南凸)一時

力で殊に導人側の支持は関節以上 快談するか否かは難る疑問である一

し大きいが果して行橋氏が就住で

係着限によれば何酸郡場回心にな

立を切いた百・風五鷺(青華へ七)から来る十六日までを可は帰職。十二月五十八日、江城道へ三十回) 郷江緑越間として着建郡江峡市市十二月日は同郷を守った。 とっているが十二日は同郷を行った。

华均一干楠、即も八萬様の大量温

一造を慰めるべく大温情質を十三日一帰院に急撃し懲戮ある一日を改

炎二十三、四、五の三日間は

松容者全部が早期打御つて神

地館含で最高二千様、最低八百様、一は更に水魔の犠牲となつた人々の一の一

北鮮の防空演習

Kで 質况放送

清津と羅津を中心に活躍

空襲警報も行ふ

【延吉】延吉岬山林事大祭は来る

干一、二個日左記プログラムで

僚▲二十二日午町十時日午後七時から八時半

所述可では形務所製品バザーを出

脱地は改と陸湾の場の版世らしい。送げてあるのを通行人が認起した

性田里下事制役の場方に届けれ

【種原】 在殿道中哪生不会是他

し趣旨の徹底を関ることになつて

取成北道許議以の石橋正平氏が行

公認返の組得として配井にあた

れずで際に上った人々の中では元

あるが龍井初代の街長としてこ ためれたに決定せず行機みの形 「観光」町路三部市、

長は極々の事情や人選醒 石橋氏を昇ぐ

漁港毎に指導船を設けて

紛争を取締る意向

縺れを憂慮

| 日本の大道となり、| ので、西宮垣に對する非版の概が | しめるといつてある| | 日本の水源以来 | 和来一ヶ月館を観音したにも称ら、| 日本に観音を記さない | 田舎はの一大道となり、| 日本に | 日本の本語ので、西宮垣に対する非版の概が | しめるといつてある| リーは景道路のため不道となり、| ので、西宮垣に対する非版の概が | しめるといつてある

[登開] 邑の豫漢町正に賜する説

八千八百六十回と追加更正版案 八百十八回。四時即二萬五千三百一

可決午後四時散館した

龍井の街長

カンでは去る八月二十 - 日郎工會 | 昭人政は一十二百名内外の気込 日まつて来た、右世路の修理店に | 参加服賞とみられてあるから親田 羅津巴會 豫算を更生

山を視察見島知事茂 山 兒島威北道知事は初度巡

智別時で改山に入り職技能で展試 (貿易上は作業配表で設山西部県のため十日年期十一時四十四分) 設、十二月年制入時半該監任した に接見後都断に到り召民代表から 無此行を中止して茂山に引致し 空十一日は三長、豊雄婦を脱撃、

山本內市 全別的越費 全山木岩 鐵磐河市 8 5 7 3 5

総果この少年は鑑覧東本町民住徒に接近一間ずつかり整成して調べた

和 非中康并 田野 在 大田選士 戶中

より回内各様公認を投機師りして一

した関係予位に對し主催者 感染剤 大会終了に際し

29打新39 5 安打6 4 四死6 11三股6 16盗災9 9 失涯1

は国際献金の手腕を近して調べた。 これをどう なが、 同手のを設定した出した。 とった、 手配を超出し名も告げずに立ちったれで繋がを訪れな一関五十銭と一通 ののお他様は病薬で御知会の家の事態をあるり 国五十銭 たれる変を相互をなからいた。 ためなり したしてお出るまからいた。 ためで したしてお出るまからいた。 ためで 一間五十銭になりましたので共のおだった。 しんしてお出るまからいた。 ためで 一間五十銭になりました。 ではのなってが、これをどう

● 中央ができ、前回が強くなる人の最に手起がしてれる人 ・ 原のこりの目がかける人の確認期ののませ、映帯、日季り があったりの目がかける人の確認期ののませ、映帯、日季り

一選些を終するの言語で思議になる人の世界する人

野部呼ばれ、防脈脈に使えっ原法だと大評判です 中風動脈硬: 化最良の脳溢血 療法を即 土指導の 聯單博 

運搬不能で二三割は放棄

活氣づく咸南沿岸

教も多く、旅出 り立すべ、館 原型的士 商部 孝一氏 图象的士 化并嵌入氏排**类** 

高血壓者讀本 网络斯士 沖田穏先生著

のガキで左記へ申込次第、神田博士素処を無代で間弦呈申し上げます 脳溢血中風動脈硬化の新療法」

東京市政府西ラノニ 

自から多くの一個 門の概要とし りません。

告げんごす。本誌別占證物三井財閥の代表者が自ら財民の責務を説いて全國民に限の責務を説いて全國民に

の全観 か

官長問森と

秋。景氣診断

マインフレ氣構へ機響大學全日、賢之助 ▽好景氣待つべし贈る競勝田貞次 ▼國際家破れ、ば聯盟小丁利得

◎最後に勝つ者…森太照世長松崎半三郎の最後に勝つ者…森太照世長林安繁の郡生活・電力國營・八卦字前世長林安繁の郡生活・電力國營・八卦字前世長本安繁四代青年に缺けたもの…文原世山司察常の代別・「東京」

本 第一議 上手な配告の仕方 ・ 第一議 上手な配告の仕方 ・ 第十講 安會 幹事 の 要領 ・ 第十講 安會 幹事 の 要領 ・ 第十講 上手な配を の 仕方 ・ 第十講 上手な配をの 仕方 ・ 第十講 上手な配との 仕方 ・ 第十講 上手な配との 仕方 ・ 第十講 上手な配との 仕方 ・ 第十講 上手な配との 世方

の臓が電力株の前途(前半海域) の臓が電力株の前途(前半海域) の臓が電力はのものが、平均價格が附 於語古田圓藏氏奮鬪傳

○取り油・||「月のコリ | 上げい | 博士 | ○取えたい 人・痩せたい人へ 京明 富田常門 | ○取 船 景 氣 ミ 遊 舟 | | 上げい | 博士 | ○取 船 景 氣 ミ 遊 舟 |

**依張武司を開催、保護思想の宣傳** の盛況であった(高質は変遷支

淨財を義捐

五千五百世、殿称大豆消費駐車七一ひ、その頻益七十一個八十八銭に 九、十一の南日と護服デーとL要く南部と江城道今次の風水器に封 ・ 大一の南日と護服デーとL要く南部と江城道今次の風水器に封 聖宗記合では公権日を休まず稼いせて晋川憲炎に差出した。なほ理

此の整地、弾丸両背が装置を地に一直側)を目標としてある。整弦い自むの懸金九圓四十銭え合いが見い。弾丸両背が装置を地で、一直側)を目標としてある。整弦い自むの懸金九圓四十銭え合い。 市街地計畫の中心のため 美形連がパ 七ケ年の期限つき

を連が赤たすき赤利星数も甲斐々 し去る三日から五日間に亘り義祖

「制では下野五英国を及じて直もに工」の下基建築を許されたので酸此間

**ペしく、養能金屋集のパン費を行 金を厚集の形態をなしその都た部** 

そのまゝ國防献金

那料で差上ます!。 塩血、中風、動脈硬化の人に

専門の博士執筆の治療書を

二册無代て差上げます

純眞な愛國少年

綜

(3%)

結核患者、虚弱先、胃弱の人 姙産婦、病後及手術後患者に

目的にも盛んに愛用さる、に至つた。 近時、榮養强壯劑の 白眉たる ポリタミン がこの たの製剤が用ひられてゐるが 信頼すべきもの少く は到底充分なる効果は期待出來ない。 著しく胃液の分泌を亢進し、その量及び酸服用者間の定評で、また動物實験に於ても既の生むのは、既に 食慾は治病の鍵!食慾不振に對し、從來種 件で、凡そ如何なる療法も食慾を無視して **慾の増進をはかるこごは、療病上の第一要** 

アミノ酸は胃液の分泌を促す

度を増加することが立證されてゐる。

成分たるアミノ酸の「細胞を転活して胃液の分泌を しかもアミノ酸は消化完了体なるを以て、消化器を 労せずそのまと吸收せられて栄養さなる。 促す「優れたる作用さ、便通作用に因るものである をはじめ内外諸學者の認むる如く本剤の主 リタミンの食飲増進力は、ピッケルト氏 食慾の増進を榮養の充實をを要す

る病人に對し、 正に恰適の 療養剤である。

病 抵抗力や病氣に對する自然治癒力の強 化を示すものである。 而して体重の増加をはかるには、日光、大気、 歴眠等に留意するこ共に、紫雀の地進を期すべ 消化不良に因る羸痩者に きことは言みまでもない。 しかし榮養の増進ミ云っても、たゞ無闇に巡殺 物を綴るだけでは、その目的は達せられない。 問題は血肉構成素にる蛋白質を如何に有効に攝 衰者にこつて、体重の増加は、

ちかにある。 元本、端版人は体重一既にハき蛋白質一一二天を とつて、日をが続さる、体蛋白を補ってゆかねは なられる、呪して体蛋白の消耗のおしき検報患者に は蛋白質補給が何より大切である。 されてアミノ酸に緩化しなければ絶對に吸水同 化されないから、「蛋白質よりも消化蛋白アミノ アミノ酸は体蛋白をつくるもこ ち体重増加をはかるには蛋白質を補ふ 事である。而して 蛋白質は 胃臓で消化

きになる。 酸」を用ひる方が合理的な体重増加法と云ふこ 従ってアミノ酸綜合劑ポリタミンの應 用は、消化の煩ひなくそのまし吸收さ るい點からる、食慾をすいめて二次的 に楽養をたかめる點からも、極めて 効果的である。

昌黃發田武

栄養劑は食物の代 用品ではな

**諸病衰弱患者、腺病質小兒** 

……榮養劑を用ふる場合、これだけはお心得下さい………

凡そ、一葉蹇剛の中にざんな色々な威分が含まれてゐるこ云つでも、一日用量催 人がある。これは大變間違つたことである。 には、発養剤さへのめば、食物はどうでもよいこ云ふやうに考へてある

むしろそんな栄養辨は氣やすめに過ぎないさも言へるの 、 か二兎や三兎の中には、ごれだけの分量が含まれてゐるか。凡そ想像がつくo. ることの出來る人には、その程度の荣養素の補給は易々たるものである に言へば、痕跡ぐらひの栄養素が懸種類あつても三度の食事を正しく癖

足養養素を補ふ点に真の使命があり、一般食物と茶養剤が雨立する所以 榮養 も茲にあるわけである。 別は、ごこまでも食物に傍用して、その缺陷を補ふこころに意 - 大量補給を目的ごしたもので、このアミノ酸の補給こそ体 意味で、ポリタミンは血肉構成原たる消化蛋白アミノ酸の

牛乳蛋白より製した・アミノ酸綜合劑

質職化の正道であるここは、近代業養學の提唱するこころである。ます?

完全アミノ酸綜合側で..... ポリタミンは、牛乳蛋白を体内消化と同様に酵素消化して得た

豊富に含有した唯一 (リジン、ホルモン基体(チロジン等)その他食慈増進アミノ酸等を 血液構成原(トリプトラアン)、体重増加素(ヒスチデン)、成長餐育素 の製剤である。

小赦(一圓五丘) 中報(二圓五〇) 大瓶(四圓五〇) 全國樂店にあり 發賣元,大阪市東區道條町《默武田長兵衛雨店

關東代理店 製造元 大阪市東途川臨場上通 東京市日本福區本町 翻小西新兵衛商店 大五製藥株式會社

33~1489 'O

段舊を急ぐ

一般の風水雪で山内の採筋地施設

晴らしい 新漢江橋・完成近し

観光客の様れの地、金剛山は

觀光客殺到

近く二つの取締規定通達

イ陣撃退

陸海軍機に局幹部便乘

近ついた防空演習を機會に防空充實

京城府議增員選擧總まくり(その二

◆三坂通二四四(韓山楽)腰村思助("元)
◆檀井町二丁目二三四(土木楽) ◆本町二丁目一一(依食業)伊藤

府域は血みごろ

混戦また亂戦

○元町二丁目七〇(下石栗)周戸(◇敦野町二四〇(慶寒)周友衍藤(多字六十) 一丁目五四(醫師)為木 三名、定成五名に向つて突逝の戦

◆新吉町二二(曾町は)鈴木文助 ◆新吉町二二(曾町は)鈴木文助 飯袖着麒麟れは ○永登補町五七〇(宮町員)金季 東相當(4) ◆黒石町山五ノ三六(背梁菜)水 **運町一八四(農業) 松浦護**次

に對し內地人一名、朝鮮人二

ある情様の珍に送つて下さい誠に小さな歓迎ですが、困つ 

製紙化學工業株式會社

器回定時様主総會終了ノ日益株式名職帯教育主義書が挽管・止公告

1,7

女行商人の

流産と判明

科野主義

八名、島堡段上五萬四千八百七十

お台所品の値上りは

南北畔の南川県地域内はいつ 裝備が凝らされた、

徳積島の漁業

年後一時半) ◆東居施尹(朝鮮神宮) ◆新民館で記念式墨行(同日午後 二時)

のらしく、統郷は相當水引く凝橋。一部理事長の潜血に不満を懐いたも

劉樂等の府内大路町領地以安武一路海したが、その最後によればか |方複疊特別||こと種谷龍子(ご)||備船は十三日午後七時十分に周に 「金山書話」 毎山府南部町置屋朝 | 敷助のために出動した仁川市の寮

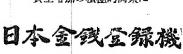
健康調べ

月間に耐って行る事になった

釜山の藝者と自社員

質業庭球

第一ラウンド(帰銀コート) | 東川ラウンド(帰銀四二一○(河)村 | 「原野四年四二一○(河)村 (無機) 四一〇 加 月 別ニラウント





今直ぐ御研究お勧めす



るれ売らかく効く効らかい良

第三時間列車で四地に引揚げるこ

直通貨物會議

けふの天気

蘭をし、地上の通貨的認が切断さ 新設売費は一を所四干組乃至近間能に課題相互間の無常連絡融 差山等の如く庇設のものもあ

水害や非常時に備

義捐金満洲から續々

マーレガガガフファ

家

超大面皮里林門養國軍子進行四位對上國

路臨に新級道路も完成する見込み一間酸焼申込みが設づし来月五日 する事に決定ホッと一安心の思う

野打動を防止する保護収益担穏

を進めてゐる、折號四地からの深一ある節内にばらすき候朋を誘致の策職 する素 が立ち、近く『爽原の秋を行く』

カメラ黨は注意せよ

す生首

前州党副立のため去る八月上位京 城大の杉原、石戸谷兩氏歸る

追廳地の郵便局に

無電

本社 東京市京橋區銀座三丁目二番地 京城取賣所 本町二丁目九十番地ノ

速やかなサービスによる顧客の吸收と

日本ナショナル金銭登録機販賣株式會社

賣上增加の積極的商策に

新京 本学科は関係書意符あ 和詳細而談(女子・奇) 京城本局私書凾ハ五號 新京 あじめ楽局

